

名城大学総合学術研究科を修了して・・・

2011年度博士前期課程修了 大西美香子さん

長期履修を希望していました。講義は同期と一緒に2年間で受講して、残り2年間は論文を書く研究に費やしました。以前、他の大学の研究所に勤務していましたので、大学や大学生にあまり抵抗はありませんでした。しかし、若い学生さんと同期として勉強するのは、現役時代からは随分時間が経っていましたので、内容的に大変でした。



第一の関門はパソコンでの履修登録でした。現役の時にはありませんでしたので、受講の登録で苦勞するとは思っていませんでした。総合学術研究科は文理融合を掲げているので、理系の学生さんも一緒に講義を受けます。理系の男子学生さん達には、大学の事やパソコンの使い方わからない点について、快く教えていただきました。一緒にランチに行ったり、お茶したり、メアドの交換もして、今でもおつきあいがあります。三河湾の調査に行ったのも良い思い出です。現役学生さん達には感謝の気持ちで一杯です。これには先生方のお心配りがあったことも大きいと思います。



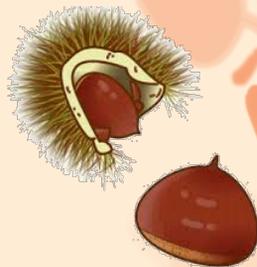
若い学生さん達と一緒に過ごせたことは、楽しい思い出です。若い学生さん達の方が、ご自分の親の世代の社会人を迎える方が大変だったと思います。親世代でしたのに、同級生として対応してくださり、孤立することなく楽しい学生生活を送ることができました。とても感謝しています。卒業式では、修士課程の代表者として壇上に上がり、学長から、直接修了証書をいただく栄誉をいただきました。このような機会に恵まれ良い思い出になりました。



講義の内容は、新しい知識が満載で、興味深いことがたくさんありました。理系の講義も興味津々でした。学べることに、わくわくした日々を送りました。レポート提出は慣れるまで緊張の連続でしたが…講義では、質問には丁寧にこたえて頂けました。少人数で受けることになりましたが、なかには教授と一対一の授業もあり、贅沢な教育環境を準備いただけことが、嬉しかったです。



パワーポイントでの発表の時は、ほとんど使ったことがなかったので、パソコン室で自習しながら、作成しましたが随分時間がかかりました。パソコンの自習室は、22時まで使用でき、大学の授業に必要なソフトが全て準備されていました。また、年間600枚まで（両面印刷だと1200枚分）、プリントアウトができます。図書館は夜の10時まで開いて、日曜日も開館しているので、よく利用しました。文献収集も、論文集のCiNiiなどは学内のパソコンから検索できます。大学院生用の自習室も準備されていて、1人用のデスクが準備されています。自宅では研究がはかどらないので、大学の各施設に随分お世話になりました。普段だけでなく、年末年始やお盆の期間なども沢山利用しました。学生のためにサポートをしっかりとってくれる大学にも感謝しています。



大学院へ行こうと思ったのは、子ども達が大学院を卒業し、教育費の負担が無くなったことも大きいです。大学院に行きたいと言う私に、家族は反対しませんでした。大学に残って研究をしている私に、クレームはありませんでした。そのことが一番の協力だと思っています。最初は、青年期の大学生、年老いた親と、どのように付き合っていたら良いかが、当時の悩みでした。そのため、15年以上前から、カウンセリングを学んでいました。その中で心理学に興味を持っていました。大学生だった頃に、教育心理学や青年心理学、児童心理学等々、教職に必要な心理学の授業は受けていましたが、以前の知識ですし、新しい知識も学びたいと思っていました。



今、仕事柄、幼児や児童のお母様たちにお会いします。家庭の教育力が低下していると言われる今日この頃、地域の教育力も低下していると言われています。育児不安が大きいと言うお母様達の地域の相談相手になれたらと思っています。今年は学会でのポスター発表もしました。研究を続けながら、平行して小学校の算数教育、特に九九の学習について、研究を進めていこうと思っています。

